

TONBO MAP

Thema ポストコロナ時代のパラダイムシフトに向けた提案

Name アトリエ・カプリス

Date 2020年7月8日 (ver2.2)

B だれが?

- グラフィックデザイン30年近くの実績。
- デザイン図解による多方面でのコンサル、指導。
- 神戸芸術工科大学、国立明石高専での指導。
- トンボMAPは、新規事業プロジェクトや大学等で、実績が豊富にある。

F 何を?

- トンボMAP入門講座(概念を知るための単発講座)
- トンボMAP実践講座(実際に作りながら進める講座)
- トンボMAPマンツーマン講座(直接アドバイスしながら)
- チームメイド・トンボMAP(企業研修を兼ねて)
- トンボMAPアドバイザー(広報物等を作りながら)

A そもそも…

- 自分の仕事の歴史の中で、幾度ものパラダイムシフトを迎えた。
- コンピュータの登場、インターネットの普及、リーマンショックなどの社会不安など。
- 自分が独立開業したのも、そういうものが背景にある。
- つまり自分自身が流動性をもった仕事のスタイルを持っておくこと、そして本当に社会に必要なビジネスを創出すべきであること。トンボMAPはそんな理由で立ち上げた。

C 「トンボMAP」といえば?

- 本時代に開業しようとしたとき、起業のサポートはコンサルや、士業、金融関係が多い。
- つまり市場における「競争・成長」を原理としたビジネス系のサポートは充実している。
- 一方でソーシャルビジネスに代表される、社会起点の事業サポートがまだ手薄である。
- 後者の場合は、競争原理よりも「共感」による「つながり」をつくる必要性が高い。
- トンボMAPは、デザイン発想起点ゆえ「共感」をつくる要素も他と比して高い。

E コンセプトは?

新しい時代の「共感」をつくっていこう。

- トンボMAP自体のコンセプトは、「“動ける!”をつくる」というもの。
- 本テーマにおけるコンセプトは、アフターコロナの時代を見越して、ソーシャルグッドが求められる時代のビジネスサポートを目的として展開する。

G どうなる?

- さまざまなつながりの中で情報交換していると、私自身も「社会に本当に必要な活動」をしたいと思うようになった。コロナでの、仕事観の変化が著しく大きい。
- でも起業の相談をすると、競争原理が基軸で、どうも二の足を踏んでしまう助言が多い。
- トンボMAPと出会い、自分の想いを起点にメッセージを構築できるようになった。
- そのため「共感」してくれる人とつながり、ネットワークの中で「動ける」ようになった。

I 何のため?

- 市場シェアの奪い合いではなく、社会不安を払拭するようなビジネスのありかたに。
- 資金や資源が豊富な大きなビジネスと、きめ細かいスモールビジネスとがネットワークを形成し、エコシステムを作っていく。地域の、必要な人に、必要なサービスが届く。
- そのために、小さなビジネスが「価値」を作り出すための土壌がある。
- トンボMAPが普及し、良質なサービスが次々にカタチになる時代をつくっていく。

D 状況は?(2020.5月)

- 人手不足が一転して、大失業時代の様相に(2020現在)。
- 大企業も第二第三のビジネス立ち上げが必要。
- セーフティーネットとしての起業の可能性が広がる。
- 反対に市場は「ものの買い控え」「不安需要」が高まる。
- オンラインの時代が本格的に動き出した。

H だれに?

- 起業家(会社、フリーランス、NPO、社会起業含む)。
- コロナの体験から、今の仕事や自分の将来、または社会不安が大きくなって、新しい時代の「仕事」を模索している。
- 不安を「希望」や「期待」に変えていきたい。
- 社会的つながりを意識した「事業」をイメージしている。